

地域の人に寄り添って(竹野地域)



昨年7月11日、竹野健康福祉センターで、コスモス会(ひとり暮らしのつどい)が社協竹野支所の主催で開催されました。竹野地域で70歳以上の1人暮らし高齢者143人のうち45人が参加しました。竹野認定こども園やなかよし園、竹野愛育班、地域包括支援センターの皆さんの出し物が行われた他、民生委員が「民生バラエティーショー」で、踊り・マジック・寸劇などを披露し、花を添えました。1人暮らし高齢者が委員と顔見知りになり、親しみを持つことで、悩みや困りごとを地区担当委員に相談しやすくなるなどの効果が生まれています。

ぐるらんを見学(日高地域)



知識の習得と資質向上のため、毎月の定例会時に研修をしています。2月には社協がこの春開所した地域福祉・生活支援拠点施設「ぐるらん」を見学しました。ぐるらんは、介護が必要になっても在宅生活できるよう誰もが気軽に「相談・交流」できる多機能施設です。今後、この施設を利用し、民生委員が地域の皆さんと交流を深めながら地域の困りごとを気軽に相談できるように啓発に努めていきます。

火の用心・高齢者防火訪問を実施(出石地域)

毎年春と秋に豊岡消防署出石分署員と一緒に高齢者住宅の防火訪問を実施しています。今年の春は、3月1日から10日の間に、弘道地区の75歳以上の独居高齢者世帯や緊急通報装置設置世帯など23世帯を訪問しました。

ガス器具の点検、電気器具のたこ足配線や電気コードのねじれが無いかなどを確認したり、仏壇のろうそくや線香の怖さなどを説明し、火の用心を呼び掛けました。



こんにちは！赤ちゃん訪問(但東地域)

但東地域では、豊岡の子育て情報とグッズを携え、地区担当民生委員と主任児童委員と一緒に、赤ちゃんが誕生した家庭を訪問します。主任児童委員は配布物を準備するだけの地域もありますが、但東地域は主任児童委員から「何かあれば相談してください。わいわい広場は知ってますか？」などと声掛けもしています。

かわいい赤ちゃんを見るたびに「幸せをありがとう！」と心が感謝でいっぱいになります。



あなたの身近な相談役 こんにちは！ 民生委員です

～5月12日は民生委員・児童委員の日～

本市では210人の民生委員と13人の主任児童委員が、それぞれの地区で活動しています。

民生委員・児童委員は援助を必要とする方の福祉全般に関するさまざまな悩みや問題などの相談に応じ、行政や関係機関へのパイプ役を務め、問題解決の手助けをします。また、社会福祉協議会(社協)が実施する福祉事業に協力しています。

生活や介護、子育てなどで困っていることがあ

れば、1人で悩まず、居住区の民生委員・児童委員に気軽に相談してください。

委員には「守秘義務」があり、皆さんの相談内容を他人に漏らすことはありませんので、安心して相談してください。居住区の民生委員・児童委員の連絡先は、問い合わせてください。

各地域での取組みの一部を紹介します。

《問合せ》社会福祉課 ☎24-7032

民生委員活動の発展を目指して(豊岡地域)



民生委員活動をさらに充実させるため、意見交換会を昨年9月と11月に実施しました。意見交換会には、民生委員の他に市と社協の職員も加わり、日頃から地域で実施している活動状況や、行政をはじめ各関係機関との連携について話し合いました。出された意見や課題、取組み状況などをまとめ、今後の民生委員活動に生かしながら、地域福祉の向上に努めています。

地域の親子との触れ合い(城崎地域)

城崎こども園で開催される未就園の親子が集う「まちの子育てひろば“さくらんぼ”」に15年前から協力しています。昼食の「たこ焼き」や「味ご飯」などを親子と一緒に作り、その後、共に食卓を囲み、楽しいひとときを過ごしています。堅苦しい相談ではなく、時には何気ない会話に含まれる保護者の悩みに寄り添ったり、子どもに食事マナーや集団の場での気配りを教えつつその成長を喜んだり、幅広く地域の次世代育成に貢献しています。



民生委員・児童委員、主任児童委員とは？

- 民生委員は、厚生労働大臣から委嘱され、それぞれの地域で、常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、社会福祉の増進に努める方々であり「児童委員」を兼ねています。
- 児童委員は、地域の子どもたちが元気に安心して暮らせるように、子どもたちを見守り、子育ての不安や妊娠中の心配ごとなどの相談および支援等を行っています。また、一部の児童委員は児童に関することを専門的に担当する「主任児童委員」の指名を受けて活動しています。